

のびのび通信 第64号

2011年4月

寒い冬を乗り越え、甘いイチゴの誕生！



毎年、パワーアップしていくのは、「のびのび」の子ども達だけではありません。いちごハウスのいちごちゃんも、この長くて寒い冬を乗り越え、今までにない甘さでした。みんな思わず、「アマ〜イ！」と大声を出していました。そして、「ここのイチゴって、美味しいんだよな〜」と一言。最初の頃は、「ブツブツしていて食べられない」と言っていたのに、苦手意識を乗り越えたのびのびっ子は、頼もしいです！

今年の「のびのび」の活動に、新しい要素を加えてきました。中学校を卒業した後、高校を卒業し社会に出るのはアツという間です。その間に、「就労」について、しっかり伝えておきたいと考え、今年の活動からは、高校生の就労体験の場としての機能も持っています。



今回の仕事は、子ども達の見守り（安全確保）。ちょっとイメージしにくいかもしれませんが、体験者は、子ども達が危険なところに行かないよう観察しながら、時には、一緒に話しながら、仕事内容を示したチェックシートどおりに仕事をこなしてくれました。

いちご狩りの仕方を説明するときも積極的にお手伝いしてくれ、みんな大助かりです。



活動後の総会でも、しっかり見守りをしてくれたので、話し合いもスムーズに進みました♪

総会報告

4月13日の活動の後、平成23年度発達障害児支援サークル「のびのび」総会を開催しました。昨年度の活動と決算の状況を確認し、今年度の事業計画と予算の承認を受けました。それによって、今年度の活動は・・・

第2日曜日の活動継続

- ・調理、創作、野外活動、有酸素運動を通じて、子ども達の成長を支える
- ・高校生には、就労体験として場とし、就労の概念を伝える。

セミナー開催

- ・テーマ「コミック会話」

リーダー養成

- ・TEACCH セミナーにスタッフ派遣

親の学習会開催

- ・定期的集まり勉強会を開く

ということに決定です。また、新役員も決定し、本格的に平成23年度の活動開始です！

なお、平成22年度の活動報告書を配布しましたが、まだ、在庫があります。必要な方はお知らせください。地域の理解に向けて情報発信などにご活用ください。

【今年度のセミナー】毎年、講演会を1～3回、2日連続のセミナーを1回と啓発活動を積極的に展開してきた「のびのび」ですが、今年度は、ちょっと小ぶりに1日セミナー1回だけです。でも、内容は、いつも通り熱いですよ！言葉によるコミュニケーションの見える化について学び、自閉症スペクトラムの人たちが暮らしやすい社会を目指したいと思います。開催は、7月31日。詳しくは、ホームページをご覧ください。(http://nobinobi.big-site.net/)

